

架け橋プログラム だより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。
架け橋期の保育・教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

入学から約4か月。1年生にとっては小学校で初めての夏休みを迎えました。4月からの1年生の成長を、接続期カリキュラム推進地区や連携推進地区の先生方の声をお届けします。



朝、泣いて教室に入れない子が少ないです。

- ★子どもがわくわくする入学式の工夫
- ★「なかよしタイム」で醸成された安心感が自己発揮へ

昨年度まで課題に感じていたことは、泣いて教室に入れない、登校しぶりになったりする児童が多い、ということでした。今年度、なかよしタイムを充実させてスタートカリを進めたところ、そうした不安のある児童がほとんどいなくなりました。スタカリの大切さを実感しました。

自分たちで考えて学びを創る力が育っていました。

- ★「？」をかいけつしよう！
- ★「やってみたい！」を実現する学習

「やってみたい」という子どもの思いを受け止めて学習を展開することで、自分で考え、主体的に学習に取り組んでいました。園で行っていたサークルタイムや遊びマップで可視化していたことが生かされており、自分たちで学びを創っている姿はとてもはつらつとしていました。



緑区のみどりン登場！1年生への手紙を届けてくれました。

学校のアイドル「ひがほん」くんを探してね！
明日が楽しみ！



なぞがとけると
うれしいね！
「？」が見つかったらみんなで考えて、調べて、園でやっていたことを思い出して解決！



かわりが生まれる場の工夫&自分で選べる場の工夫

「好きなくだもの」を伝えながら輪になって健康観察。先生が子どもが伝えたくだものにおはじきを並べると、それが数の勉強に。

あそこはこうしたらいいと思う。みんなどう？



国語「大きなかぶ」



すごくよかったと思う！
話し合ってたね！



一緒に遊ぼう
交流

こんな交流にしたい！という思いをもとに活動。困った場面でもこうなりたいという思いがあるので自分たちで考えて乗り越えられました。